

2023年12月5日

株式会社三井 E&S

株式会社ゼンリンデータコム

三井 E&S とゼンリンデータコムが共同開発する「ドローンスナップ」 対応機種にソニー製ドローン「Airpeak S1」がラインナップ ～三井 E&S 大分工場内のクレーンを対象に実証実験を実施～

株式会社三井 E&S（本社：東京都中央区、代表取締役社長：高橋 岳之、以下「三井 E&S」）と、株式会社ゼンリンデータコム（本社：東京都港区、代表取締役社長：清水 辰彦、以下「ゼンリンデータコム」）は、共同開発中である“ドローン自動飛行点検ルート生成アプリ”「ドローンスナップ」とソニーグループ株式会社のドローン「Airpeak S1」との連携が可能なことを確認し、ドローンスナップ対応機種にソニー製のドローンが加わりました。

今回、連携の確認のため、三井 E&S 大分工場内のクレーンを対象に、以下の実証実験を実施しました。

【実証実験の概要】

1. 実施目的：

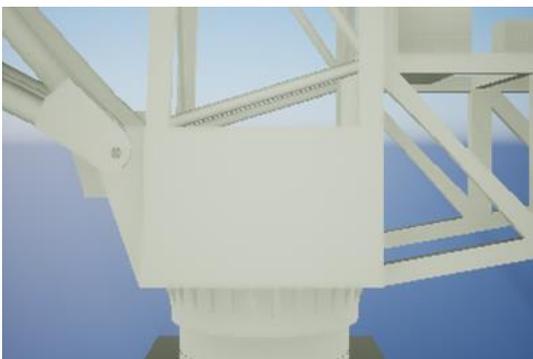
- ① ドローンスナップとの Airpeak S1 接続性、飛行の検証
- ② 点検箇所を撮影した画像の品質に関する検証

2. 使用機材・サービス：

- ① ソニー／ドローン Airpeak S1
- ② ソニー／フルサイズミラーレス一眼カメラ α ™ ILCE-7RM5
- ③ ソフトバンク／高精度測位サービス（RTK 測位）「ichimill（イチミル）」

3. 検証内容及び成果：

- ① Airpeak S1 とドローンスナップとの接続性、飛行の検証
⇒ ドローンスナップで設定した撮影予定画像と、同画角で撮影が可能であることを確認



撮影予定画像



撮影結果

- ② 点検箇所を撮影した画像の品質に関する検証

⇒ 目視点検に耐えうる画像を取得可能（0.3mmのクラックを確認可能）

4. 各社役割：

- ① 三井 E&S：
飛行ルートの設定及び現地でのドローン操作・点検作業
- ② ゼンリンデータコム：
ドローンスナップと Airpeak S1 の連携プログラム作成
- ③ ソニー：
ドローン及びカメラの提供、ドローンスナップと Airpeak S1 の連携支援

ドローンにて自動撮影した画像は、三井 E&S の製品である、港湾クレーン向け次世代遠隔モニタリングシステム「CARMS」やインフラ設備全般向けのドローン撮影画像管理ツール「ドローンスナップクラウド」にて、点検結果とともにクラウドに蓄積することで、効率的な運用管理が可能になります。これらのツール及びドローンスナップは、三井 E&S と、グループ会社の三井 E&S システム技研との共同開発によるものです。また現在、三井 E&S は、撮影した画像を解析することにより、自動で発錆の有無や錆の定量評価（点検箇所に占める発錆量を数値化）が可能になる技術も開発を進めております。

【お問い合わせ先】

株式会社三井 E&S

物流システム事業部 テクノサービスセンター

Tel：0863-23-2440 E-Mail：mes-drone@mes.co.jp

株式会社ゼンリンデータコム

戦略企画本部 事業企画部

E-mail：zdc_drone@zenrin-datacom.net